

ハウスレクチャシリーズ in 卸町 2006  
 第21回 2006年12月22日 [金] 19:00~(開場18:30)

**第一部 八束はじめ氏レクチャ** (建築家・建築評論家・芝浦工業大学教授)

コーディネーター 五十嵐太郎 (東北大学大学院助教授)

八束はじめ/YATSUKA, HAJIME

PROFILE: 1948年山形県生まれ。東京大学工学系大学院中退。磯崎新アトリエを経て独立。現在、建築家、建築評論家、芝浦工業大学教授、UPA主宰。

主な作品=《文教大学体育館》,《文教大学センターハウス》,《WING 苦楽園》,《白石マルチメディア・センター》など。

主な著書=『批評としての建築』(彰国社,1985),『近代建築のアポリア』(PARCO出版局,1986),『メタポリズム』(INAX出版,1997),『ロシア・アヴァンギャルド建築』(INAX出版,2001),『ミースという神話』(彰国社,2001),『思想としての日本近代建築』(岩波書店,2005)などがある。



**テーマ：再生**

ハウスレクチャシリーズとは...

2003年、仙台市若林区卸町の倉庫(ハウス)を改修し移転した阿部仁史アトリエを会場として、デザインを核に、街に新しい人の流れを生み出しつつ、地域や建築の「再生」について考えていくトークライブです。毎回、各地で「再生」のデザインを試みている講師をむかえ、スライドや映像などを交えながら、それぞれの実践を紹介していただきます。

会場 = 阿部仁史アトリエ/house in 卸町  
 仙台市若林区卸町三丁目3-16

車で来場の方は卸町第61駐車場(共同配送センター東)をご利用ください。

開催日 = 隔月1回(偶数月) 最終or第4金曜日を予定

定員 = 80名(申込み先着順)

参加費 = 1,000円(ドリンクつき)

申込み = 参加ご希望の方は、氏名、所属、メールアドレスを明記の上、  
 email ☒: houselecture@a-slash.jp (堀口) もしくは  
 fax ☒: 022-782-1233 (阿部仁史アトリエ/堀口) までお申込み下さい。  
 なお、準備の都合上12/18(月)までにお申込み頂けると助かります。

**第二部 建築の2006年はどうだったのか?**

パネリスト 阿部仁史、小野田泰明、五十嵐太郎、本江正茂、槻橋修、中田千彦

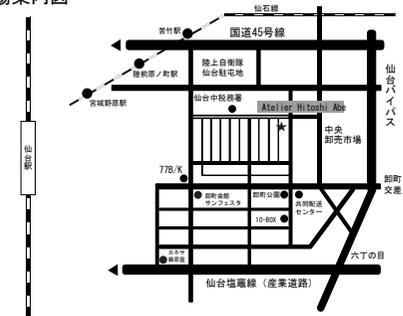
スペシャルゲスト 八束はじめ他



協力 = 協同組合 仙台卸商センター

お問い合わせ=022-284-3411 (阿部仁史アトリエ/堀口, 後藤)

会場案内図



最寄りの駅 ■ JR石巻宮城野原 駅徒歩20分 ■ 仙台市営バス卸町 演劇工房前徒歩5分 ■ トラックターミナル・中税務署前徒歩5分 ■ 仙台駅4番乗場「東部卸町団地行」「卸売市場 霞の目(営)行」16:52/17:52 ■ 32番乗場「卸売市場霞の目(営)行」16:43/17:43 ■ 仙台駅方面への最終バス時間「トラックターミナル・中税務署前発」20:46 ■ 最寄りの駐車場 ■ 共同配送センター東第61駐車場徒歩5分